



七中だより

第1号

令和5年4月14日(金)

校長 勝野 能光

令和5年度のスタートにあたって ～進級・入学おめでとうございます～

校長 勝野 能光

4月7日、第40回入学式を挙げていたしました。101名の新入生を迎え、2年生82名、3年生92名、合計275名で令和5年度のスタートをしました。今年度も、生徒と教職員で、これまで積み重ねてきた三鷹七中の良き伝統を引き継ぎながら、よりよい発展をめざします。

また、学校と家庭そして地域社会との信頼を基に、教職員一丸となって教育活動の充実に努め、子どもたちの健全な成長を支援していきたいと考えております。今年度も本校の教育方針にご理解いただき、それぞれのお立場からご支援をいただけますようお願い申し上げます。

6日の始業式では、七中生のキーワードである「3C」Change(チェンジ) Chance(チャンス) Challenge(チャレンジ)についてお話ししました。

入学式では、一人一人に「努力の壺」をプレゼントしました。

あなたがそのまま入ってしまうような大きな、大きな陶器の壺です。その壺には、あなたの願いが札に書かれ、ついています。例えば「テストで100点をとりたい」という願いです。その壺に、1日勉強するたびにコップ1杯の水が入れます。つまりコップ1杯の水が「努力」なのです。

最初のうちは水を入れても、入れても、壺の中の水が増えた気配すら感じられません。どれくらい水がたまってきたかを見たくても、陶器の壺なのでうかがいすることもできません。途中で、「自分には向いていないのではないか?」「どんなに努力しても、全然進歩がない!」「無駄な努力はやめてしまおう」と自分自身の努力に疑問を持つようになります。そして、コップの水を入れることをやめてしまうのです。

強い心を持った人もいます。つまり、弱い心を克服できる人です。「自分には向いていないのではないか?」という悪魔のささやきにも負けず、初心を貫く人です。毎日コップで水を入れていると、ある時、水の音が変わってきたことに気づきます。水を入れたら、ポチャン!と音がするからです。その音から確かに水がたまっていることを知ります。こうなると、コップで水を入れるのが楽しくて仕方がありません。今までは、1杯入れるのがやっとだったのに、「たまっている」と実感できたことで2杯分、3杯分の努力を惜しみなくできるようになります。

ここまでくると、努力を「努力」と思うのではなく、生活の一部として取り組むことができるようになります。そして、いつかは壺から水があふれだす時がきます。このとき、初めて努力の大切さを知ることができるのです。

これからの生活の中で、悩んだりあきらめたりしそうになった時、この入学式で差し上げた「努力の壺」を思い出し、取り出し、水を入れて下さい。今日入学の時に決心した思いを思い出して下さい。みなさん一人一人が、努力を惜しまず、壺から水があふれだす中学校生活を過ごして欲しいと思います。

令和5年度がスタート

4月6日（木）令和5年度がスタートしました。始業式に先立ち、着任式を行いました。校長先生より、新しく着任した教職員が紹介され、一人一人あいさつと自己紹介をしました。その後、始業式を実施しました。校長先生のお話、代表生徒の話と続き、最後は教職員と生徒全員で、学園歌と校歌を高らかに歌い上げました。



第40回入学式を挙行

4月7日（金）
第40回入学式
を挙行しました。

今年度は101名の新入生が入学しました。これで全校生徒が勢ぞろいし、令和5年度の本格的な船出となりました。

新入生を代表して1年B組の仲田 壮佑さんが力強く「誓いの言葉」を読み上げました。



「誓いの言葉」

1年B組 仲田 壮佑

若い草の芽が伸び、春めいた日差しに、野川の川面もきらめく季節になりました。今日は、ぼくたちのために盛大な入学式を開いていただき、ありがとうございます。ぼくたちの小学校生活の約半分は、新型コロナウイルス感染症のため、様々な制限がありました。当たり前前ではなく、悲しい気持ちになったことがあります。この4月から制限がなくなり、マスクを外して友達と話すことができる喜びを感じています。ここにいる仲間と共に、思う存分楽しみたいです。

ぼくの中学校生活で頑張りたいことの一つに部活動があります。部活動を通して、努力することや忍耐力、チームワークを身につけたいと思います。また、中学校生活をより楽しいものにするために、友達をたくさん作ってみたいです。

学習面では、教科によって先生が変わるので授業が楽しみです。どの教科でも積極的に取り組んでいきたいです。例えば、予習や復習をして、毎日やるべきことを決めて計画的に勉強をしていきたいです。

部活動や勉強だけでなく、委員会や勉強だけでなく、委員会活動や一つ一つの行事などにも意欲的に取り組みたいと思います。二刀流、三刀流でがんばりたいです。

今、ぼくたちは、新しい生活に緊張し不安も感じています。七中の校歌の「力の限り未来を拓く」という歌詞の通り、自分の将来を切り開くため、どんなことにも一生懸命頑張ります。先生方、先輩方、どうか温かい目で見守っていただき、ご指導くださいますよう、よろしく願いいたします。